

平成30年度 学校評価アンケート調査結果

- 1 調査期間 平成30年11月5日（月）～16日（金）
- 2 回収率 (1) 生徒 98.2% (対象 1,134人) (前年97.1%)
 (2) 保護者 93.9% (対象 1,113人) (前年95.4%)

3 概況

各項目について、「肯定的評価」の数値を過年度と比較する

- ・「肯定的評価」とは、「そう思う」と「だいたいそう思う」の合計
- ・数値の単位は「%」（小数点以下第2位を四捨五入）
- ・「平均」は生徒・保護者とも13（15）項目の平均

	対 象 項 目	生 徒				保 護 者			
		H30	比	H29	H28	H30	比	H29	H28
1	学習指導	68.4	≒	68.1	76.0	77.5	<	78.7	84.6
2	生徒指導	78.7	≒	78.5	86.4	83.3	=	83.3	84.9
3	進路指導	81.6	>	78.9	83.7	78.8	<	80.3	83.3
4	教育相談	80.5	≫	72.5	78.2	81.8	>	80.5	80.6
5	部活動	92.6	=	92.6	90.3	90.6	≒	91.4	90.9
6	生徒会活動	77.6	≫	70.4	69.3	82.6	>	79.9	80.5
7	学校行事	75.5	>	72.1	78.7	84.9	≒	85.1	88.0
8	特色ある学校づくり	62.4	≒	63.1	64.5	76.8	>	74.5	75.1
9	防災教育	87.2	≒	88.0	82.9	86.8	≪	92.3	84.3
10	情報の発信	84.8	≒	84.6	85.2	88.2	<	90.2	75.8
11	施設設備	75.7	>	74.7	73.6	82.2	≒	83.0	80.1
12	いじめ問題	77.5	≫	67.9	68.4	68.5	<	69.5	66.7
13	学校生活の充実	76.8	>	75.5	79.8	85.3	≒	86.0	87.6
14	進路状況	78.5				78.9			
15	総合満足度	79.0				88.5			
	平均	78.5	>	75.9	78.2	82.3	≒	82.7	81.7

4 比較

(1) 生徒アンケート調査について

①肯定的評価が昨年度に比べて1%以上上昇した項目

「3進路指導」+2.7% 「4教育相談」+8% 「6生徒会活動」+7.2%
 「7学校行事」+3.4% 「11施設設備」+1% 「12いじめ問題」+9.6%
 「13学校生活の充実」+1.3%

②肯定的評価が昨年度に比べて1%以上下降した項目

なし

(2) 保護者アンケート調査について

①肯定的評価が昨年度に比べて1%以上上昇した項目

「4教育相談」+1.3% 「6生徒会活動」+2.7%
 「8特色ある学校づくり」+2.3%

②肯定的評価が昨年度に比べて1%以上下降した項目

「1学習指導」-1.2% 「3進路指導」-1.5% 「9防災教育」-5.5%
 「10情報の発信」-2% 「12いじめ問題」-1%

5 分析・考察

- (1) 生徒アンケートの肯定的評価が、ほぼ全項目にわたって昨年度を上回った。特に、「教育相談」「いじめ問題」という心の領域に関わる分野で過去最も高い評価となった。
- (2) 保護者アンケートの結果は、例年とほとんど変わるところがなかった。「部活動」「防災教育」「情報の発信」については、生徒・保護者ともに高い評価をいただいている。
- (3) 一方、「学習指導」「特色ある学校づくり」という学校の根幹に関わる項目で生徒の肯定的評価が低くなっている。大きな年次変化が見られないことから、ここに本校が抱える恒

常的な課題があると思われる。

- (4) 学年別に比較したところ、肯定的評価は全体的に1年生が最も高く、2年生が最も低い結果となった。「進路状況」「総合満足度」は3年生が最も高く、高校生活を意味あるものとしている様子が見える。
- (5) 生徒・保護者の要望をより正確に把握するため、今年度から質問項目を2項目増やした。おおむね良好な評価をいただくことができた。

6 検討事項

- (1) 「学習指導」に対する評価が、特に生徒アンケートで低くなっている現状を学校として真摯に受け止めなければならない。「みやぎ学力状況調査」によると、「授業が分かる」と答えた生徒は1年生で57.3%、2年生で55.8%と昨年度と比べて改善はしている。よりわかりやすい授業が求められている。
- (2) 「部活動」「防災教育」「情報発信」が、高い評価をいただいている状況に変わりはない。「教育相談」「いじめ問題」とあわせて、安心安全な学校環境づくりに尽力したい。